

1. 学校の沿革

昭和	55	3	15	新校舎竣工
		4	9	起工式
56	4	1		名張市立北中学校開校
	4	4		開校式、始業式（446名、12学級）
	4	6		入学式（226名、6学級）
	4	21		竣工式
	6	8		生徒会発足
	6	10		「学校創立記念日」制定
	9	19		P T A発足・総会
57	3	5		校歌制定
	3	15		同窓会発会式（91名入会）
58	11	15		市指定研究発表（生徒指導）
59	2	13		校舎増築（普通教室12、特別教室3）
	2	29		部室増築
60	3	10		校門前庭園・花壇造成
	5	28		文部省生徒指導推進指定校
61	3	2		創立5周年記念庭園完成
	3	26		パーソナルコンピューター20台設置
	4	7		プレハブ教室増築、自転車置場増設
62	6	2		生徒指導総合推進校として文部省より感謝状
	10			運動場手洗い場完成 文部省初等中等局長学校視察
平成元	3			プレハブ教室に冷房機設置、2階建プレハブ教室増築
2	2	14		格技場竣工
	11	6~		創立10周年記念式典・文化祭、中庭舗装
4	3	10		プレハブ・特別教室棟男子便所 身障者用に一部改造
	4	1		つばさ学級（特別支援学級）設置
	11	19		市指定研究発表会（特別活動）
6	1			パーソナルコンピューター20台設置
	3			第1美術室を「つばさ学級」に改造
7	12			全教室にストーブ設置、灯油庫新設
8	2	4		創立15周年記念P T A奉仕作業で自転車置き場塗装
	5	24		生き生きとした学校づくり推進校区指定校
	8			コンピューター室に冷暖房機設置
9	1	8		校門前大改修完成、通学バス乗り入れ
10	10			「こころの教室コンピューター」活用調査研究(文部省委託)
11	8			普通教室、特別教室大改修
	8			保健室空調施設設置
12	2			運動場土砂止め工事
	5			リーダー室をカウンセリングルームに改造
	10	28		創立20周年記念式典、記念行事、時計台設置
13	7			舞台照明装置設置
	11			ノートパソコン11台設置
	11	22		北中学校区人権教育推進事業研究発表
15	4			運動場電源装置
16	3			体育館スクリーン新調（電動）
17	7			職員室・校長室空調施設設置
	11			市指定研究発表（教科指導）
19	3			校舎、体育館、格技場防犯警報装置（セキュリティ）設置
20	1			ノートパソコン27台設置(コンピューター室21台、職員室6台)設置
	3			中庭テニスコート新設 体育館放送設備改修
	11			体育館放送設備改修
21	12			職員室周辺舗装
22	3			特別棟グラウンド側道路及び体育館横駐車場舗装工事
				電子黒板及び職員各1台パソコン設置
22	11	3		教室（普通・特別教室）に52型大型地デジ対応テレビ設置
23	7			創立30周年記念事業
25	3			普通教室扇風機設置
26	4			国立教育政策研究所委嘱「魅力ある学校づくり」推進事業
26	11	20		運動場部室トイレ改修
27	2	7		名張市教育委員会指定学校教育研究推進事業研究発表
27	7~			北斗会桜植樹
30	9			体育館耐震工事・大規模改修 格技場耐震工事
令和	2	2		普通教室、特別教室エアコン設置
	2	4		特別棟の屋上改修
				創立40周年記念式典、記念行事
				中庭のベンチ4脚設置・時計台のメロディーチャイム改修
				北中学校区小中一貫教育スタート
3	1			「G I G Aスクール構想」1人1台タブレット導入
	4			価値観の多様化、機能性を考慮した制服のブレザー化

2. 学校教育目標

1 学校教育目標	
夢をもち、心豊かで、たくましい生徒の育成 ―感謝・感動・つながり―	
2 めざす学校像、幼児・児童・生徒像、教職員像、保護者・地域像	
○学校像	・生徒一人ひとりの心の居場所がある学校 ・安全で安心して学べる学校 ・地域に開かれた信頼ある学校
○生徒像	・目標をもち、自ら学ぶ生徒 ・自ら考え、自ら行動する生徒 ・仲間とつながり、学び合う生徒 ・心身ともに健康な生徒
○教職員像	・チーム北中の一員として、つながり合う教職員 ・生徒の課題に寄り添い、生徒とともに実践する教師 ・生徒・保護者・地域に信頼される教師
○保護者・地域像	・つながり合い、学び合う保護者 ・子どもを見守り育てる地域

3 学校の現状	本年度の改善方策
<p>本校は本年度で創立43年目を迎える。以前は県下でも有数のマンモス校であったが、市内校区再編により、本年度より各学年3クラス規模の学校となる。</p> <p>この3年間、新型コロナウイルス感染拡大影響のため、生徒たちは互いの素顔が見えない中での意思疎通を余儀なくされてきた。また、日々の授業、学校行事や部活動など、生徒同士のつながりや集団づくりを進めるうえで大切な教育活動が制限されたなかで実施されてきた。これらのことが生徒の心身の発達に及ぼした影響は計り知れないものがある。</p> <p>厳しい家庭的状況の中で、児童虐待、安否確認がとれない生徒、不登校、長期病欠生徒、心に悩みを持った生徒、様々な課題のある生徒も年々増加している。令和4年度3月末の不登校生徒は3名、長期病欠生徒は12名（年間30日以上欠席/本年度2・3年生の総数）であり、中には命の危険性のある緊急な対応が必要な生徒もいる。特別な支援が必要な生徒も年々増加しており、昨年度より特別支援学級は5学級に増設、通級による指導も進めている。また、昨年度はじめての事案が発覚した。早期発見ができず、対応に時間を要し苦慮した。SNS上のトラブルも発生した。</p> <p>このような中、年間2回実施しているQ-U調査においても、学級生活満足群の減少、不満足群・要支援群の増加が見られる（令和4年度第2回、全校の満足群63.6%、不満足群12.9、要支援群3.1%）。今後も日々の授業や生徒会行事等を通して、自己存在感や充実感を感じることができるよう、居場所づくりをさらに進めていく必要がある。</p> <p>北中学校区の小中一貫教育、コミュニティ・スクールの取組については、4年目を迎え、縦と横のつながりもでき、内容も充実してきた。目指す生徒像の実現に向けて、教職員数減、予算厳しい中、今後も学校の教育力を高めていくために今後毎日頃からの地域とのつながりを大切にし、人的・物的資源を有効に活用していく必要がある。</p>	<p>様々な課題をもった生徒が増加傾向にある中、校内においては、生徒の姿をよく観察し生徒の課題に寄り添いながら、報・連・相、情報共有を密に、担任を中心に<u>チーム北中として指導、支援を進めていく</u>ことが大切である。個々の課題は表面的に見えにくく、<u>教育相談を充実させ</u>、生徒の変化に気づき、<u>未然防止、早期に対応していく</u>ことが重要である。また、課題も多岐に渡ることから、SSW、スクールカウンセラー、警察、児童相談所、家庭児童相談所等の<u>関係機関との日頃からのつながり</u>を大切にしながらともに課題解決に向けて粘り強く取組を進めていく必要がある。</p> <p>学級・学年集団づくりを原点に立って見直し、日々の授業をはじめ学級活動、学校行事、生徒会活動等を通して、<u>生徒同士のつながりと居場所づくり</u>をさらに進めていく。生徒一人ひとりに活躍する場を与え、みんなでがんばったという達成感や充実感を感じ、学校が楽しい場、魅力ある場となるように工夫、改善をしていく。そのことにより、不登校やいじめの<u>未然防止</u>につなげていく。授業においては、学習指導要領を踏まえ、生徒同士のつながり学びが深まるよう、タブレットの有効的な活用も含め、指導方法の改善や、生徒の学習意欲の向上に向けて取組を進めていく。</p> <p>コミュニティ・スクールについては、4月に北中校区の校長とCS会長との懇談会をもつ。防災については、地域の方と中学生の話し合いの場を設定する。小中一貫教育については、5月・8月・2月、年3回の研修会を計画する。中学生の合唱を小学校6年生に鑑賞してもらう場を計画する。<u>縦と横のつながり</u>を大切にしながら、9年間の子どもの学びや育ちを意識した取組を進めていきたい。すべての教育活動の基盤となるのは、<u>元気な教職員、チーム北中の一員としてつながり合う教職員集団</u>である。教職員が心に健康に職務を遂行するために過重労働対策を推進していきたい。（月一回以上の定時退校日、時間外労働の削減）</p>

3. 学校研究主題

「自らを拓く力、自らの学びをつなげる力の育成を目指して」
～「つながり」をつくる「しかけ」を意識した実践の研究～

4. 本校の概要

(1) 生徒数・学級数（各学年：つばさ学級在籍生徒数を含む）

	男	女	合計	学級数
つばさ	21	4	25	5
1年	48	42	90	3
2年	62	49	111	3
3年	46	53	99	3
合計	156	144	300	154

(2) 教職員数

	校長	教頭	指導教諭	教諭	講師	養護教諭	事務	S C・教育支援員	sss	学習s	自立支援員	校務員	合計
男	1		1	12	4			1					19
女		1		8	6	1	1	1	1	1	2	1	23
計	1	1	1	20	10	1	1	2	1	1	2	1	42

※講師には、再任用・非常勤を含む

5. 教育課程

	1	2	3	日課表	
				水	月火木金
国語	140(4)	140(4)	105(3)	予鈴	8時30分
社会	105(3)	105(3)	140(4)	短学活	8時35分～8時40分
数学	140(4)	105(3)	140(4)	モーニング*北斗	8時40分～8時50分
理科	105(3)	140(4)	140(4)	1限目	9時00分～9時50分
音楽	45(1+10h)	35(1)	35(1)	2限目	10時00分～10時50分
美術	45(1+10h)	35(1)	35(1)	3限目	11時00分～11時50分
保健体育	105(3)	105(3)	105(3)	4限目	12時00分～12時50分
技術・家庭	70(2)	70(2)	35(1)	昼食	12時55分～13時10分
外国語	140(4)	140(4)	140(4)	昼休み	13時10分～13時30分
特別な教科道徳	35(1)	35(1)	35(1)	5限目	13時35分～14時25分
特別活動	35(1)	35(1)	35(1)	6限目	14時35分～15時25分
総合的な学習の時間	50(1+15h)	70(2)	70(2)	短学活	月・金15時40分～15時45分 水14時40分～14時45分 火・木15時45分～15時50分
計	1015(29)	1015(29)	1015(29)		月・水・金はモジュール学習 5または6限後10分間 火・木は清掃 6限後10分間
モジュール学習(裁量)	35(1)	35(1)	35(1)		学級活動・生徒会活動・部活動など